大竹市浸水避難地図
内水ハザードマップ

OTAKE CITY INLAND WATER HAZARD MAP

2023年（令和5年）5月発行

■内水ハザードマップ

内水ハザードマップは、大雨や台風により発生する浸水（内水氾濫）が想定される区域等の浸水に関する情報や避難場所、洪水予報・避難情報の伝達方法等の避難に関する情報を記載したものです。
本地区の内水ハザードマップでは、小瀬川からの外水氾濫などによる影響は考慮していません。

■内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫：下水道等排水施設の排水能力を超える雨が降った場合に、排水施設から水があふれたり、排水施設に入りきれないで地上に溜まったままになることです。また、大雨が降ると河川の水位が上昇し、排水されにくくなり、排水施設などがあふれてしまいます。

外水氾濫：大雨により河川の水が増え、水位が堤防いっぱいまで上昇すると水の圧力がかかることで堤防の一部が崩れたり、堤防を越えて水があふれてしまうことです。また、崩れた場所は水が一気に拡がり、勢いよく流れだし、家などに襲いかかります。

■浸水深と避難行動

浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障を来たし、避難行動が困難になります。
浸水深が50㎝以上（子どもの場合20㎝以上）になると歩行が困難になるため、早めの避難を心掛けましょう。
自動車の場合は浸水深が30㎝以上になると走行が出来なくなることがあります。また、避難時に自動車を使用すると交通渋滞を招き、道路冠水等により動けなくなるため、自動車による避難は極力避けるようにしましょう。

■雨の強さと降り方

やや強い雨
●1時間に10㎜～20㎜の雨
ザーザーと降る。
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。

強い雨
●1時間に20㎜～30㎜の雨
どしゃ降り。
傘をさしていてもぬれる。

激しい雨
●1時間に30㎜～50㎜の雨
バケツをひっくり返したように降る。
道路が川のようになる。

非常に激しい雨
●1時間に50㎜～80㎜の雨
滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く）
傘は役に立たなくなる。

猛烈な雨
●1時間に80㎜以上の雨
息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。
大規模な災害が発生する恐れがある。

■避難時の行動・心得

①ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
②避難指示などに従い、速やかに避難しましょう。

●屋内安全確保の場合　以下のことを行っておくことが大切です。
①床上浸水の恐れがある場合は、家財道具を浸水しない場所に移動させましょう。
②浸水により下水が逆流する恐れがあるため、水のうでトイレや排水口に重しをしましょう。
③土のうや長めの板で臨時の止水板を作りましょう。
④お風呂に水を貯めるなど、生活用水を確保しましょう。

●立ち退き避難の場合　以下のことに注意することが大切です。
①避難する前に電気ブレーカーを落としましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。
②お年寄りや子ども、病気の人などは早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。
③避難するときは動きやすい格好で、2人以上での避難を心掛けましょう。
④避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は十分注意しましょう。
⑤大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないで下さい。

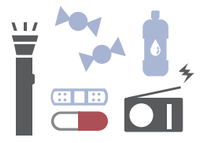
OTAKE CITY INLAND WATER HAZARD MAP

■このハザードマップを使って日ごろから浸水に備えておきましょう。

ハザードマップを活用しよう！

このハザードマップは、大雨や台風により発生する浸水（内水氾濫）から身を守るための情報が掲載されています。このマップを活用し、浸水に対する具体的なイメージをもって、その特性を正しく理解するとともに、正しい判断と行動をすることで、浸水から命を守りましょう。

●浸水（内水氾濫）に関する学習をしましょう。



●非常持出品を準備し、すぐに持ち出せるような場所に保管しましょう。

●出かけるときは携帯ラジオやスマートフォンを持ち、近くの避難可能な場所を把握しておきましょう。

●防災訓練に参加し、地域における協力体制について話し合いましょう。

●家族で話し合い、実際に避難場所まで歩いてみたり、わが家のハザードマップをつくりましょう。

●浸水が浅い場合は、土のうや長めの板を使って浸水を防ぐことができるため、準備しておきましょう。

避難方法としては、「屋内安全確保」と「立ち退き避難」があります。浸水状況によって安全な避難方法を検討してください。
屋内安全確保：自宅・施設等の建物内に留まり、安全を確保する避難行動。なお、ハザードマップで以下の条件を確認し、自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。
●浸水深より居室は高い
●水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分
立ち退き避難：自宅・施設等から指定緊急避難場所や安全な場所へ移動する避難行動。

■非常持出品

いざというときのために、日頃から最低限の非常持出品を用意し、両手が空くリュックサックなどに入れておきましょう。また、準備した非常持出品を地域の防災訓練の際に活用しましょう。

●非常持出品　食料や水を3日分は用意しましょう。

3日分程度の食料や水

情報収集に必要なラジオ、携帯電話、夜間の避難に必要なライト

常備薬などの医薬品

当面の衣類、タオル、ウェットティッシュ

頭部を守るためのヘルメット、防災ずきん

乳幼児がいる家庭ではオムツ、ほ乳瓶

貴重品（免許証や健康保険証のコピー、現金、通帳、印かん）

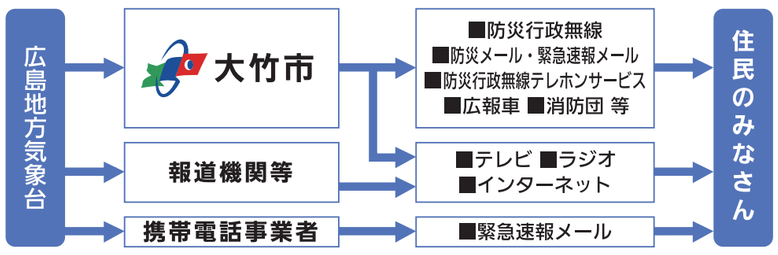
■家族が居る場所から近い避難場所や連絡先を記入しておきましょう。

家族（親戚・知人など）の名前	電話番号（会社・学校・携帯）	備考

わが家の避難場所	家族の集合場所	非常持出品の置き場所

OTAKE CITY INLAND WATER HAZARD MAP

■気象予報や警報等の情報の入手方法



速やかに様々な手段で住民のみなさんに情報が伝えられます。

防災行政無線テレホンサービス
防災行政無線の放送内容を電話から確認することができます。
0120590-131
フリーダイヤル

▶インターネット等による情報入手

大竹市の避難場所、防災に関する情報や気象、警報に関する情報は、インターネットやメール配信システムからでも確認することができます。

大竹市ホームページ

大竹市防災情報等メールサービス

広島県防災 Web

浸水深表示

海抜表示

大竹市内の学校や公共施設等に海抜表示・浸水深表示を設置しています。

大竹市ホームページ	http://www.city.otake.hiroshima.jp/
大竹市防災情報等メールサービス	http://www.city.otake.hiroshima.jp/soshiki/somu/kikikanri/gyoumukiki/5/bousaijyouhou/
広島県防災 Web	http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/

■災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認しましょう。

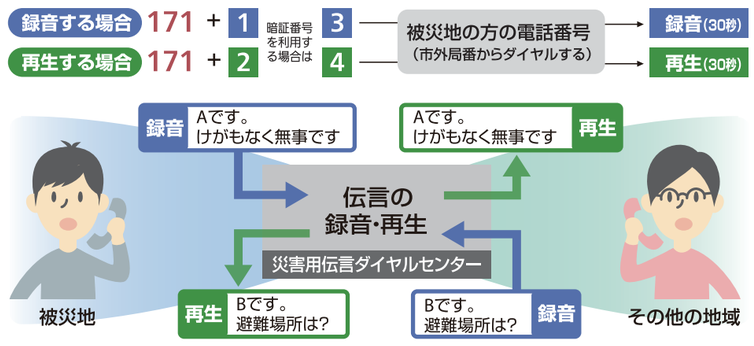
災害用伝言板（災害用伝言ダイヤル171／Web171）は、電話・インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板です。携帯電話、スマートフォン、パソコンなどからも利用することができます。

災害用伝言ダイヤル

1 7 1

災害用伝言ダイヤル171は、被災地の方などの電話番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。災害発生時に安否確認のための通話等がつながりにくい状況になった場合に提供します。

Web171（文字の伝言板）
https://www.web171.jp



■いざというときの連絡先

海難事故 118
火事・救急 119
警察 110

大竹市役所 総務部 危機管理課／〒739-0692　広島県大竹市小方１丁目11番１号
電話番号：(0827)59-2119（直通）
電子メール：kikikanri@city.otake.hiroshima.jp